

# 平成 27 年新年意見交換会 開催報告

平成 27 年 2 月 14 日  
幹事長 鈴木昌次

本研究所では技術面での各種活動を行ってきましたが、技術だけでなく、「トンネル」を自らのアイデンティティとする仲間たちが交流できる場を持ちたいと思っておりました。楽しく交流でき、何か意義のある催しはないものかと考えておりましたところ、この「新年意見交換会」を思いつき、幹事長特別プロジェクトとして開催させて頂きました。昨年は 40 名程度を都内のお店で気楽にと考えたところ、多くのお申し込みを頂き、お断りせざるを得ないほどでした。このため、本年は 70 名以上が可能なホテルでの開催としました。

おかげさまで会場は大変な盛り上がりを見せ、20 代から 60 代以上という幅広い年代層の方々が所属組織の枠を超えて楽しく会話を重ねられました。終盤には、司会の声も届かないほどで「収拾がつかない」状況であったことをご報告しておきます。

また、最後の締めくくりは恒例により肥後満朗様をお願いしました。新年のスタートを切るに当たって、皆が明るく勇気づけられる、楽しくも素晴らしいエンディングとなりました。

ご参加頂いた各位に改めまして御礼を申し上げます。来年も、より良い「新年意見交換会」を企画致しますので、会員各位のご協力をお願い致します。

## 1. 開催日時

平成 27 年 1 月 26 日(月) 18:00~20:30

## 2. 開催場所

ホテルルポール麹町 サファイア

## 3. プログラム

司会進行：幹事長 鈴木昌次

(1) 年頭挨拶 理事長 中川浩二

(2) 乾杯 中田雅博 特別顧問 中日本高速道路(株)

(3) 招待スピーチ 河田孝志様 清水建設(株)

(4) 参加者年代別年頭所信

20 代 : 木野村有亮様 (株)大林組

30 代 : 今村 大介様 鈦研工業(株)

40 代 : 足立 忠彦様 (株)カテックス

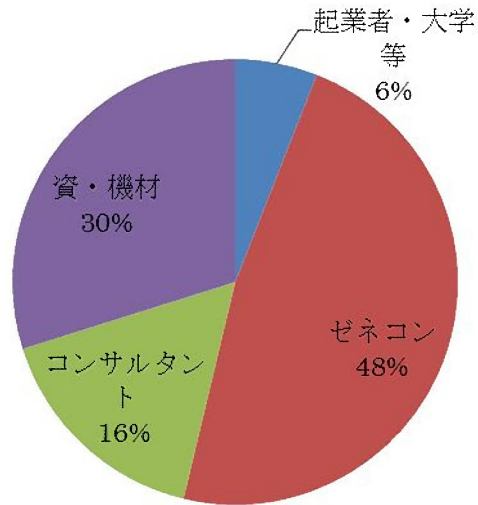
50 代 : 小原 勝巳様 飛鳥建設(株)

60 代以上 : 川本 健様 (株)マシノ

(5) 閉会挨拶 肥後満朗様 (株)安藤・間

#### 4. 参加者数

全 68 名



#### 5. 平成 27 年新年意見交換会 会場の様子とスピーチ



中川浩二理事長 年頭挨拶



中田雅博特別顧問 乾杯

##### 【中川理事長】

新年意見交換会は、幹事長の発案で昨年よりスタートしました。昨年は 40 人で募集したところ、応募多数で最終的には 5 人が入りきれない状況になりました。そのように人気があったため、今年は定員を増やして実施することとし、おかげさまで、ほぼ満員という状況です。本日は、日頃いろいろと思われることを発表するなど、今年 1 年に向けた楽しい意見交換を行いたいと思います。楽しくやりましょう。



会場風景



河田孝志様 招待スピーチ

### 【河田孝志様】

国内外で、多くの難しいトンネル工事をマネジメントしてこられた清水建設の河田孝志様より、「国内外の現状」と題して4つの工事について、工事の特徴、課題、ご苦労されたことなどをご披露していただきました。

まず一つ目のプロジェクトは外環（東名）本線シールドで、外径 16.1m のシールド工事において平均月進 500m を確保することが最大の課題であること、そのために大量の土砂、資機材の搬出入を確保する計画が重要であることをご紹介いただきました。また、地中拡幅による分岐合流部について SR-JP 工法での施工方法をご説明いただきました。

二つ目のプロジェクトは、ジャカルタ地下鉄南北線で、全長 23.8km のうち、4つの駅舎と 2.6km のシールド 2 本を担当しているとご紹介いただきました。ジャカルタにおける初めての地下鉄であり、非常に渋滞の多い道路を占用しての工事だとのことでした。

三つ目はホーチミン地下鉄で、外径 6.65m、延長 781m のシールドトンネル、駅 2 箇所、開削 534m を施工するものです。ベトナムにおけるはじめてに地下鉄であり、オペラハウス前の目抜き通りを通る難工事です。工程遅延が懸念されましたが、政府の協力で当該箇所を完全に締切り、埋設撤去等が速やかに行われたことで、現在順調に工事が進んでいるとのことご紹介いただきました。

四つ目は、マレーシアのパハン導水路トンネルで、全長 44.6km を 3 工区の TBM と 4 工区の NATM で施工する工事です。NATM においては当時の日本最高記録となった 283 m/月の進行を達成したこと、また TBM 工区においては 50m を超える大空洞や 24t/分の大量湧水、50℃以上の高熱岩盤が 4 km に及ぶこと、TBM のメインベアリング破損やバルコン破断など苦労されたことが紹介されました。特に土被りが 1,000m を超える区間では断続的に山はねが発生して苦労され、その瞬間を撮影した貴重な動画についてご紹介いただきました。このような難工事でありながら、重篤災害ゼロ、特に NATM 区間 L=9.1 km は無災害であったとのことでした。

年頭に思うこととして、「この会はトンネルを生業にしている人の集まりであり、皆さんと一緒に危険な仕事と言われているトンネルを安全だと思われるようにしたい。皆さんの力を結集して“日本のトンネルは安全だ”と言われるようにしましょう。」と、ご発表がありました。



20代代表 木野村有亮様



30代代表 今村大介様



40代代表 足立忠彦様



50代代表 小原勝巳様



60代以上代表 川本 健様



特別出演 阿部玲子様





ついでに、司会の鈴木昌次



肥後満朗様 閉会挨拶

**【肥後満朗様】**

最近、このような業界の会合に参加してみると参加者が確実に増えてきている。やはり仕事が増えていることで、業界全体に「勢い」がついてきている。この2~3年の勢いがあるうちに、建設業界を魅力ある産業にしていかなければならない。また、社会に自慢できる業界にしたい。そのためには処遇（収入）を上げなければならない。学生が行きたい、家族や周りの人から喜ばれる業界にしたい。全てがうまく回ってゆく業界にしたい。今日の参加者の平均年齢は52歳、まだまだ若い業界だ。頑張りましょう。



以上